



栄養・子ども学部 健康栄養学科

准教授 **高木 康之** TAKAGI Yasuyuki

専門・活動分野 **生物分子科学、食生活学、健康科学**

最新の研究内容

テーマ：植物由来天然物質の機能性に関する研究

研究/活動紹介

背景

植物由来食品の機能性に関する研究は近年ますます活発化しており、生体内において多様な有効作用が確認されています。これらの食品が持つ機能性は老化や癌、さらには生活習慣病の予防に寄与する可能性が高いと考えられています。特に、生体内で発生するラジカル類を消去する抗酸化成分を豊富に含む食品を日常的に積極的に摂取することは、健康増進や疾病予防において重要であるとの認識が社会的にも広く一般化しています。

目的

生活習慣病の予防や健康寿命の延伸、さらにはQOL（生活の質）の改善に資する機能性素材の探索を目的としています。特に、食品としての摂取時に抵抗感が少なく、生体への副作用が少ない植物由来成分に着目し、その有効性を科学的に検証します。具体的には、耐糖能改善、脂質代謝調整、免疫調整作用、抗酸化作用などの生理活性能に対する影響を体系的に評価し、健康維持・疾病予防に資する新たな知見を創出することを目指します。

成果・効果や展望

これまでの研究により、植物由来成分が健康維持に関わる主要生理機能の最適化に寄与する可能性が示されています。また、抗酸化作用を有する食品素材の摂取が細胞レベルでの酸化ストレス軽減につながり、生活習慣病や老化関連疾患の予防に有効であることが確認されつつあります。これらの成果は、健康維持や疾病予防に資する科学的根拠を提供するとともに、予防医学的価値を持つ食品の創出へと直結する応用的価値を有しています。

<知が広がる探究の場>



<探究の歩みから始まる創発>



産学連携/地域貢献へのアピールポイント、相談可能事項

- ・ 食と健康の関わりを多角的に捉え、地域社会に潜在する資源や知見を新たな形で活用する可能性を内包しています。
- ・ 地域資源を模索しつつ、社会的ニーズに応じた応用展開の可能性についての意見交換を行います。

学会・経歴

- ・ 日本健康科学学会
- ・ 日本植物生理学会
- ・ 日本食生活学会
- ・ 日本医学教育学会
- ・ 仁愛女子短期大学生生活科学学科
- ・ 仁愛大学人間生活学部

<お問合せ窓口>

仁愛大学 地域共創センター TEL 0778-43-6576 e-mail collabo@jindai.ac.jp